

元住吉、最大の音楽祭。

第2回 元住吉 ミュージックフェスティバル

2023 Motosumiyoshi Music Festival

日時 **2023年4月8日(土)**
午前11:00～午後8:00

場所 **川崎市国際交流センターホール**

ジャズ、クラシック、ロック、アコースティック etc.
たくさんのアーティストが集い
一日中、生の音楽に浸って見ませんか?!



主催 音楽好きな友の会
共催 Motton Club
後援 「音楽のまち・かわさき」推進協議会
(公財)川崎市国際交流協会
(公財)かわさき市民活動センター
(公財)川崎市生涯学習財団
かわさき市民放送(株)(かわさきエフエム)
(公財)現代人形劇センター
人形劇団ひとみ座
協力 モトスミ・フレメン通り商店街振興組合
モトスミ・オズ通り商店街振興組合
井田中ノ町商栄会
井田第二共和会
木月一丁目町会、二丁目町会、三丁目町会
木月四丁目共和会
武蔵新城サンモール商店会
福街不動産
(2022年11月15日現在)

A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music
Mマガジン
2023年2月16日号
2023年1月16日発行
(毎月16日発行)
第96号
発行・編集人:塚田親一
編集:藤田順治 / 大場明弘
発行:音楽好きな友の会
川崎市中原区木月2-21-132
TEL 090-9398-2889
2023-1-16-800 Printing RK



M MAGAZINE

2023 February

●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories

音友レコード倶楽部
レコードコンサート合同開催中
Light music
「軽音楽ファンの集い」
Jazz Date
「ジャズファンの集い」
2023年2月23日(祝・木)
13:15開場,13:30開演
参加費:¥1,500
川崎市国際交流センター
レセプションルーム



西郷葉介(さいごう ようすけ):
シンガーソングライター
2011年『はじめの一步/for us』でCDデビュー。年間100回以上の路上ライブ、ライブハウスやイベント出演など精力的に行い、2013年ワンマンライブを渋谷公会堂で行う。2015年ミニアルバム『ジェットコースタードライブ』発売し、タワーレコード渋谷店(Weekly Chart)のインディーズアルバムチャート第1位、総合アルバムチャート 第3位を獲得。コロナ禍の2021年から2022年、年間46曲を作詞作曲しYouTubeで公開、ファン投票によって選ばれた曲のCDを2023年にリリース予定。次の目標は武道館。

連載41

そして音楽の旅は続く 渋谷のJZ-Brat、観客は錚々たるメンバー

ジャズボーカリスト
星乃けい
official website
<https://www.hoshinokei.com>



▲渋谷のJZ-Brat
セルリアンタワー東急ホテルの2階
写真はホームページから

2005年12月14日にジャズ歌手としての1枚目のCDが発売され、Swing Journal、Jazz Life、CD Journal、Stereo Soundなどジャズ誌、オーディオ誌からの取材が始まりました。撮影も久しぶりだったので緊張しました。また、高音質のレコーディングだったのでオーディオマニアの方々からも高い評価をいただき、ヨーロッパのオーディオメーカーさんも広告に使ってくれてビックリ。私はポップスからジャズへの参入なので取材の中で「これまでのジャンルを唄うのと、ジャズを唄うというのは何が違いますか?」という質問には考えさせられました。ジャズを始めて日が浅いのに、難しい。少しお時間をいただいて「同じです。心を込めて一生懸命に唄うことに変わりはないです」とお返事しました。やっぱり原点がブレてしま

うと、どんなジャンルも唄うことはできないと思います。まずは一生懸命に唄って、ジャズは時間をかけて経験を積んでいこうと今でも思っています。さて、ジャズを始めたばかりの私に、どうしてレコーディングや取材などのチャンスが訪れるのかしらと思われているかもしれません。それはきっと私が音楽業界という一つの世界にずっと居たからだと思えます。売れようが売れまいが、表舞台でも縁の下の力持ちでも、ここにしか居場所はなく、ネットワークもここにしかないのです。なので私がジャズを唄い始めたとき、昔のディレクターが聞きつけて、レコーディングの話が決まりました。各雑誌社の取材もしていただけました。世の中には私のまったく分からない業界がたくさんあってお恥ずかしい次第ですが、一つの世界をずっと生きていくのもいいもんだなあと思っています。そのディレクターのおかげで良い状況でCDが発売できたし、とんとん拍子に進み、私は彼の音楽出版社に所属しました。そして「CD発売記念LIVEをやりましょう!どこですか?」と聞かれて「渋谷のJZ-Bratでやりたい!〜!憧れのマリナー・ショウの唄ったステージに立ちたいです。決まったらワクワクしました。当日はレコーディングのメン

バーに来てもらったので音楽面での不安はなかったのですが、お客様のご予約リストを見て驚愕。ユニバーサルミュージック社長、ピクチャー社長、エリック社長、チャゲ&飛鳥事務所社長、肩書だけを見るとビビりそうな面々がスラリと。でもお名前を見ると、どの社長も若いころにお世話になった方々ばかりで、この日は社長という立場ではなく「ようちゃん(本名)がジャズを唄うなら応援に行くよ!」と来てくれたのでした。ほんと、泣きたいくらい嬉しかった!



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム『NEARNESS OF YOU/星乃けい』、2006年12月20日『IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい』をLP、CDでリリース。オーディオファン、ジャズファンから高く評価される。

音友レコード倶楽部PR動画!
「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

島倉 学ミュージックスクール
驚くほど歌い方が上達する
「島倉 学メソッド」
歌が人生を変える
音楽は決して貴方を裏切らない

島倉 学ミュージックスクール
プロ志望専門ヴォイス・トレーニング
30分無料体験レッスン実施中!
【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分
島倉音楽スタジオ
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(104呼)
【お問い合わせ】
島倉音楽事務所 営業日:火曜~土曜 12:00~21:00
代表 島倉 学 定休日:日曜・月曜
TEL 044-567-5940 Mail: info@ms-music-school.com
HP: http://www.ms-music-school.com/

川崎市国際交流センター

第28回外国人市民による日本語スピーチコンテスト

川崎で生活しながら、日本語を学んだり、仕事をしたりしている外国人の皆さんが、日本に来て、体験したことや考えていることなどを発表します。審査の間には、王(ワン)明君(ミンジュン)さん(昭和音楽大学 教授)による中国笛の演奏があります。

●日時:2月18日(土)13:00~15:30
●場所:川崎市国際交流センター・ホール
●申込み:<https://www.kian.or.jp/sp/>から、2月5日(日)までに(右記申込フォームから)



●お問い合わせ
川崎市国際交流協会
TEL 044-435-7000
FAX 044-435-7010
E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp
ホームページ <https://www.kian.or.jp>
川崎市中原区木月町2-2
元住吉駅から徒歩10分



川崎市生涯学習プラザ



第121回 ランチャイム・ロビーコンサート
●新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる場合があります。
●日時:2023年2月2日(木)
12:00開場/12:10開演/12:40終演予定
●場所:川崎市生涯学習プラザ・1Fロビー
●料金:無料
●出演:ナチュラルビート/マリンバ、カホン
●内容:2005年に洗足学園音楽大学・武蔵野音楽大学出身の広瀬茜、三浦ひろこによりマリンバ・パーカッションのデュオとして結成。幼稚園、ロビーコンサート、音楽鑑賞会などでクラシックからジャズまで幅広いジャンルの曲を聴きやすくアレンジし演奏している。

●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団
総務室 総務係
ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5560
E-mail:concert@kpal.or.jp
川崎市中原区今井南町28-41

【来場の注意】
マスク着用、連絡先記入、検温、入場制限がございます。
●予定曲目
・主よ人の望みの喜びよ
・ずいずいずっころばし
・坂本 九メドレー
他

音楽好きな友の会(音友会)

2月23日は「富士山の日」 2月23日は徳仁天皇誕生日ですが、静岡県では語呂合せで「富士山の日」と制定されています。「富士山」といえば山中湖畔で1986年8月29日(金)~31日(日)に日本では初の野外「マウント・フジ・ジャズ・フェスティバル・ウィズ・ブルーノート」が開催されました。この時は「ブルーノートレーベル」創始者の一人であるアルフレッド・ライオンも来日。また、アート・ブレイキー、ハービー・ハンコック、ジャッキー・マククリーン等「ブルーノートレーベル」ゆかりのミュージシャンが一堂に会しました。当時は音の良いライブ放送に人気があり、TV放映とFM生

中継もされ日本でレーベル発売元の東芝EMIが録音したレコードはオーディオファンにも大好評を博した。当時のこの懐かしいフェスティバルのレコードなどお持ちの方はぜひご持参で音友レコードコンサートで聴かせてください。
●開催日時:2月23日(祝・木)
開場:13時15分/開演:13時30分/閉会:16時30分
●開催会場:川崎市国際交流センター・レセプションルーム
※ソフトラック等の持ち込み可
●参加費:1,500円 ※高校生以下¥500
※次回3月21日(火・祝)を予定しています。詳細はHPをご覧ください。

2023年2月23日(祝・木)「軽音楽ファンの集い」と「ジャズファンの集い」のプログラム

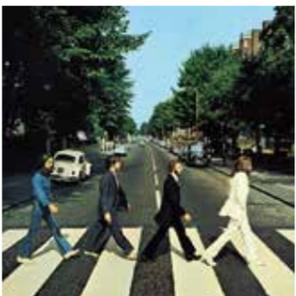
●「Jazz Date」(ジャズファンの集い)
名アレンジャー、ネルソン・リドルの世界
担当:大場アキヒロ
Sing A Song With Riddle/Nelson Riddle
フランク・シナトラやナット・キング・コールら多くのヴォーカリストへのアレンジ提供で知られるネルソン・リドルは、映画音楽の作曲や自身名義のインスト・アルバムも数多く手掛けています。世界初(?)のカラオケレコードをリリースしたり、晩年はリンドン・ロンシュタットのスタンダードナンバー3部作や真梨邑ケイへのアレンジ提供などで活躍しました。名アレンジャー、ネルソン・リドルの足跡をたどっていきます。

●「Light Music」(軽音楽ファンの集い)
天才少年スティーヴ・ウィンウッド率いた
ロックバンド、トラフィック
担当:藤田 順治
When The Eagle Flies/Traffic
エリック・クラプトンと並ぶ英国ロックの代表人物スティーヴ・ウィンウッド。若かりし頃から天才少年と呼ばれ、キーボード、ギター、シンガー&ソングライターのマルチプレイヤーとして活躍しました。その彼がリーダーとして率いていたロック・バンドであるトラフィックのアルバムからピック・アップして聴いていきます。メンバーにはウィンウッド以外にも名ギタリストのデイブ・メイソンも在籍していたことがあります。

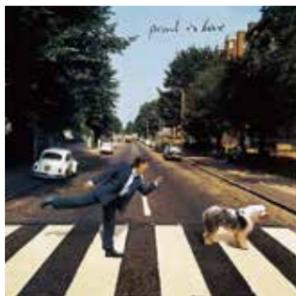
連載29 団塊じいのジャケ買い遍歴

最も感受性が高かった頃、聴いてしまった

神山 昇



▲ビートルズ「アビー・ロード」のジャケットデザインは、イーグルスの「ホテル・カリフォルニア」も手掛けているジョン・コッシュ。



▲1993年にリリースされた、ポール・マッカートニーのライブ・アルバム「アビー・ロード」のジャケットだが、「ポール死亡説」を自らネタにした。

輝彦の歌で風を切っていた。世間知らずのひ弱な次男坊は、同じ高校出の同じような次男坊の友人と連日徹夜続きの課題をこなしていた。1968年、ベトナム戦争の反対はすれど肝を知らぬまま...

と云っていた若輩の愛用していた筆や「カラス口」がヘルメットとゲバ棒に変わってしまった。右往左往しているバリエードの中で...

さて、1967年頃だったろうか。男子中高一貫校で育った私は思春期の真っ只中に男女共学の大学に入った。小手先の美術で頭の悪さをカバーし、グループサウンドと加山雄三と、西郷...

特別寄稿 Music Conversations 音友レコード倶楽部・音楽談義

ブラジルの風が感じられるアルバム



▲①コロコバードのキリスト像



▲②イグアスの滝

ジャズやロック以外で更に新たなジャンルを求め、ブラジル関連の音楽を盛んに聴いていた時期があった。ブラジルというすぐ思いつくかぶのがりオデジャネイロを見下ろす「コロコバードのキリスト像」(写真①)とブラジルとアルゼンチン国境付近にある「イグアスの滝」(写真②)である。スポーツ面では何と云ってもサッカー王国であり、音楽面においてはサンバ、ボサノヴァ等を中心にあらゆる音楽が融合している。初めに紹介する2枚は音友レコード倶楽部で以前紹介した事もあるブラジルのフュージョングループ「アジムス」関連のアルバムである。

トニオ・アドルフ・ホセ・ベルトラミ(元アジムス)のキーボードが包み込み、数曲でパルキ本人もデュエット参加している。なお、11月の音友レコード倶楽部においてもナラ・レオンのジャズ・スタンダードナンバー特集を実施し数曲を聴いた。

Album 1 「プレヴィザン・ド・テンポ／マルコス・ヴァーリ」(写真③)

ヴァーリは昔からボサノヴァの第一人者の一人として活躍していたシンガー&ソングライターで「サマーサンバ」の作曲者として有名である。アジムスは一時期この人のバックバンドとして活動を共にしていた。このアルバムは1973年に発表され、心地よさではヴァーリの作品中ベストといわれており、軽快なギターと時代を感じさせるエレピが融合しており、12曲中3曲を除いて全てアジムスがバックを務めている。また「アジムス」というバンド名もヴァーリが名づけ親とされている。



▲③Previsao Do Tempo/Marcos Valle

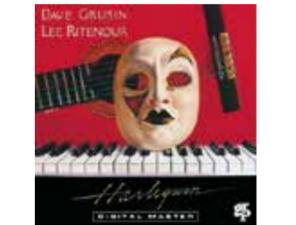
Album 2 「Com Acucar Com Afeto」/ナラ・レオン」(写真④)

1980年に発表された15枚目のこのアルバムはシコ・パルキという当時無名の作曲家の考え、メロディーライン等にナラが惚れ込み、全曲彼の曲を取り上げている。ナラの包み込むような優しい歌声、とろけるようなアン...

▲④Com Acucar Com Afeto/Nara Leao

Album 3 「ハーレクイン／デイク・グルーシ&リー・リトナー」(写真⑤)

このアルバムはGRプレーベルより1985年に発表され、ゲストとしてブラジルのシンガー&ソングライターであるイヴァン・リンスが自作の3曲においてボーカルで参加している。彼のボーカルは独特のピブラトがかかった歌声であり、1度聴けば誰でも彼の歌だとわかり、特に冒頭の「ハーレクイン」は独特な雰囲気を感じ出している。このアルバムで彼の名前を知ったが、実はクインシー・ジョーンズのアルバム「愛のコリーダ」の中でトゥーツ・シールマンズがハーモニカを吹いている「ヴェラス」という曲も彼の作品であった。



▲⑤Harlequin/Dave Grusin & Lee Ritenour

Album 4 「エリス&トム／エリス・レジナ&アントニオ・カルロス・ジョビン」(写真⑥)

生演奏が多かったが、今回出場の演奏家の方々にもリハーサル時にこの会場から自身のバンドの音楽の良さを十分に発揮できるバランス確認のチェックを十分に願いたい。今後のリハーサルなども含め、また音友会演奏家スタッフの豊富な経験を生かした「音作り」の検討結果をご来場の皆さんと楽しみたいと思います。

藤田 順治

1974年に発表されたこのアルバムはエリスがリオデジャネイロに移ってから10年目を記念し、レコード会社がロサンゼルスへの旅行と当時、そこに住んでいたジョビンと好きな様にレコード制作をおこなって良いという2つのプレゼントを提示した事により誕生したアルバムである。二人で話し合った結果、ジョビンの曲を彼の演奏でエリスが歌う事になった。このアルバムの中で目玉はなんといっても1曲目「三月の水」であろう。ここではジョビン自身がエリスとデュエットをしており、二人のリラックスした雰囲気の中での掛け合いが微笑ましい。



▲⑥Elis & Tom/Elis Regina & Antonio Carlos Jobim

Album 5 「ジルベルト・ウイス・タレントイン／アストラッド・ジルベルト」(写真⑦)

「イバナマの娘」で大ブレイクした「ゲッツ/ジルベルト」をプロデュースし、つい最近亡くなられたクリード・テイラーが再度アストラッド・ジルベルトを迎え、テナー・サクスのスタンリー・タレントインと組ませて制作した1971年CTレーベル作品。ジルベルトは前述したナラ・レオンの友人であり、彼女の家で開催されていたパーティーに参加することにより、歌うきっかけを掴んだとの事である。アレンジ等で参加しているエミール・デオダートを始め、ブラジル出身のミュージシャンの曲は独特のリズム感が醸し出され聴きごたえがある。しかし、映画の主題歌、パート・バカラックの曲なども含まれており、多少統一感に欠ける内容となってしまう感は否めない。



▲⑦Gilberto With Turrentine/Astrud Gilberto

連載01 日本生まれの弦楽器「ヴィオラ」、02

アンサンブルグループ「こんべいとう」の誕生

桂 宏美

ヴィオラは、歌やバイオリンのように、複数の音を同時に出すことが得意ではない単音楽器です。ヴィオラ奏者が何人か集まれば、役割を分担しながら、和音やハーモニーを同時に奏することが可能になります。ヴィオラが発売された当時、ヤマハ音楽振興会では「20代女子のヴィオラ奏者を育てたい」との事で、ヤマハ音楽院卒業生の私に声がかかり、オーディションを受けることになりました。オーディションの中から5人が選ばれ、特訓の日々が始まりました。その5人はそれぞれ専門の楽器を弾ける人たちが、ピアノ奏者、...

オリラ、ソプラノヴィオラよりも10センチ位長めのベースヴィオラがありませ。ちなみにベースヴィオラは、エレキベースの太い弦を一本張り、指やピックではじいたり、コントラバス用の弓で弾いたりスティックで叩いたり奏法はヴィオラと同じです。「こんべいとう」では、私はヴィオラベースを主に担当し、各曲のアンサンブルで入れ替わるときは、ソプラノやアルトヴィオラを弾いたりもしました。当時、女子十二楽坊という中国の女性グループの楽曲が、ヴィオラの出す音色に近いものがあり、「こんべいとう」のレパートリーにも何曲か取り入れていました。「こんべいとう」は、クラシック音楽からポップス、懐メロ、文部省唱歌、ジャズ等、ジャンルにとらわれない楽曲でヴィオラの魅力を伝えました。アジア的な音色や優雅なイメージで、ベトナムの民族衣装のアオザイを衣装として取り入れたりもしていました。お客さんは、初めて見るヴィオラを不思議そうに目で見て、興味を示してくれました。特に年配の女性に人気がありました。理論派の男性や子供からも声をかけられる事が多かったです。ヴィオラは見た目は大正琴ですが、見た目とは裏腹に、想像もつかないような色々な音色が出て、いい意味で裏切ってくれるユニークな楽器です。私たち「こん...



桂 宏美(かつらひろみ) シンガーソングライター&ヴィオラ奏者。ヴィオラアンサンブルグループ「こんべいとう」に参加。かわさきFM 毎月第三水曜日 18:30~19:30 [DJレボのディアフレンド]のパーソナリティーを務める。YOUTUBEにて「桂宏美チャンネル」配信。ボーカルの発声、ヴィオラの演奏などもアップ中。チャンネル登録をお願いします。HPhttps://www.pckms.com/

べいとう」はお客さんに初めてのヴィオラをお伝えするアンサンブルグループでした。



▲ヴィオラ奏者グループ「こんべいとう」。右端が筆者

連載77 「くじら座」日記

パレード

時々無性に聴きたくなる曲の一つが、山下達郎の「パレード」だ。イントロから漂うノスタルジックな香りは、幼い頃の記憶をフラッシュバックさせてくれる。僕にとって、思い出したくないのは過去である。大切な未来であっても、時には過去に想いを寄せることも必要だ。当時の自分にとっては辛かったことも、それはきっと「パレード」のように、一つ一つの経験が行列を成し、今の自分を形成しているのだろう。幼い頃は極度の負けず嫌だった自分。成人してからも、音楽コンテストやオーディションで敗北を喫するたび、涙を流すだけでは足りないほど悔しい想いを重ねた。「音楽に勝ち負けはないよ」という言葉には、救われるどころか、苦しめられた。確かに、音楽はスポーツとは違ってもいけないが、音楽にも、やはり感覚的な「勝ち負け」は...

存在する。その対戦相手は、時には共演者であり、時には自分自身だ。相手がいる方が、また手のつけようがあるだろうが、これが後者となると、克服は非常に難しい闘いだ。決して成功はできるが、「成功を感じる」には苦難を乗り越えるしかない。音楽にとっての苦難とは、とてつもなく地味で、人には伝わりにくいものである。技術的なトレーニングや、制作の試行錯誤、そして人生経験だ。ローカルでは、やたらと「曲づくりへの想い」がクローズアップされがちだが、想いだけでは伝わって響かない。技術があって初めて、想いは曲に乗り、伝わるに...

牧野 憲人

留まらず響くのだ。そして、そこに人生経験が乗れば、音楽は人の人生を救うこともできる。音楽の可能性とは、偶然ではなく必然だ。沈む夕陽がもう一度踊り出すよう、眠る前に改めてあの頃を思い出す。すべてが今の僕をつくっているのだと感じながら。



連載57 Course: Addicted to Guitar

手っ取り早くジャズっぽいフレーズ その3 ホールトーンスケール 永瀬 晋

いつもお世話になっております。今月も引き続きセッションなど実戦で役立つフレーズをソウリーヴ・ミュージックスクール永瀬がお送りしていきます。今回もJazzネタのつづきになりまして、JazzのJazzっぽさを引き出してくれるII-V-Iで使えるフレーズでございませ。※おさらば「I(少し不安定)-V(かなり不安定)-I(安定)」というコード進行「前前々回」と「ディミニッシュアルペジオ」「オルタードスケール」を使用しまして、それぞれかなり強烈な響きを出し出す音階でございましたが、今回も個性派の「ホールトーンスケール」です。構成音はRoot, 9, M3, #11, b13, 7, となり、Rootからひたすら全音で積み上げたスケールです。順番に...

音階を弾いていくだけでもかなり浮遊感のあるフレーズになりますね。ふわふわ浮いて着地点が良く分からない感じが個人的には大好きな音階でございます。今回の「ホールトーンスケール」もやはり不安定さが売りということで、II-V-IのVの部分で最高に活躍してくれるです。※おさらば。というわけで早速譜例に行ってみましょう。今回はVの小節に「ホールトーンスケール」を入れてみました。先ほどご紹介した通り順番に...



ソウリーヴ・ミュージック・スクール Souleave Music School http://souleave-music.com/ 元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分 チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992 レッソンは8:00~22:00開始迄、詳細は要連絡

MOTTON CLUB 地域の、全国のミュージシャン、そして音楽活動に関わるあらゆる人をネットワークしたい。演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信活動を後押しして頂くことが目的です。元住吉から世界に向けて配信してきます。アーティストメンバー募集中!! 現在、登録アーティストメンバーが演奏動画を配信しています。演奏者の方で「モットンクラブ」から配信希望の演奏動画を募集しています。(近郊で企画、運営可能なスタッフメンバーを募集中です)

連載-Take 20 初回のMMF実施プランを思い出しながら 塚田 親一

延期になった20年の「元住吉ミュージック・フェスティバル(MMF)」の開催プランを頼りに、この4月に向けて運営、進行を纏めているが3年間のプランは大きい。20年の出場者にも再開の連絡を取り、MMFの開催テーマである「最小限のPAで楽器本来の生音で聴く」というテーマを会場ですぐ表現するには如何にホール環境を把握...

するか、またご来場の皆さんに出場演奏家の演奏する音楽を上手に伝え、満足して帰って貰うには、などの忘れかけている検討事項などが暫くぶりに協議が上がってきた。会場はヴァイオリン、ジャズトリオ、ビッグバンドの生演奏は確認できているが、会場の音量制限もあり和太鼓、電気楽器の演奏は筆者も十分な確認が済んでいない。初回も...

生演奏が多かったが、今回出場の演奏家の方々にもリハーサル時にこの会場から自身のバンドの音楽の良さを十分に発揮できるバランス確認のチェックを十分に願いたい。今後のリハーサルなども含め、また音友会演奏家スタッフの豊富な経験を生かした「音作り」の検討結果をご来場の皆さんと楽しみたいと思います。